

## CASE1. 腰痛

<東京都 30代男性>

年に2, 3回ぎっくり腰が起き、そのたび、数日間は動けずに寝込んでいました。仕事にも影響し、本当に困っていました。こちらに来て、月1回ペースの推拿を受け、食習慣も野菜中心にすることと、夕飯に動物性たんぱく質を控えるようにアドバイスを受けました。通って3回ほどで腰痛は起きなくなりました。

<先生のコメント>

彼の場合、左側中心のぎっくり腰で、季節の変わり目に起こりやすくなっていました。腎臓のエネルギー不足のために、腎臓の老廃物を処理する力が弱く、熱邪が溜まりやすくなり、それを定期的に表に発散させることが腰痛の形で現れていました。推拿で腎臓の気の流れを改善し、腎臓の働きを向上させ、さらに食生活を改善することで、腎臓は熱邪がたまりにくくなり、ぎっくり腰の発症を抑えることができました。

## CASE2. 慢性腎炎

<東京都 40代女性>

1人目の子供の妊娠中に尿たんぱくや潜血反応があり、二人目の子供の妊娠中、さらにクレアチニン数値(腎機能に関する)も高くなり、慢性腎炎と診断されました。その後、こちらのサロンに通い始め、月1回の推拿と食事指導を受け、食事はほぼヴィーガンに近い食習慣になりました。半年後には尿たんぱくはプラス3からマイナス値に、潜血反応もプラス4からマイナス値になりました。さらに1年後には1.0を超えていたクレアチニン値は0.8代まで下がっています。さらに慢性の頭痛や腰痛も改善されました。

<先生のコメント>

元々腎臓のエネルギー不足の体質です。妊娠、出産また食習慣の原因で腎臓のエネルギー不足をさらに悪化させ、腎臓に強い内熱が発生している状態でした。野菜食に切り替えることで腎臓の負担を減らし、推拿の施術でそれまで腎臓に溜まっていた熱邪を排泄する事で腎機能は回復しました。

## CASE3. 偏頭痛

<東京都 50代女性>

若い頃から月に1度くらいの強い片頭痛(右側)があり、歳をとるにつれて、ひと月に一度くらいだったのが、2回、3回と増え、その度に痛み止めを飲んで対処していました。また、50歳を過ぎた頃、脳の動脈瘤(右側)が見つかり、手術して取り除きました。

それが原因かと思ったのですが、その後も片頭痛は治りませんでした。こちらのサロンに来て、推拿を受け、漢方を飲むことで徐々に頭痛は起こらなくなり、今ではうそのように数十年続いていた頭痛から解放されました。

<先生のコメント>

右側の片頭痛でした。これは長い間滞っていた肝臓の熱邪が原因です。更年期後の脳の動脈瘤も同じ原因であると考えられます。推拿で肝臓中心の滞りを改善し漢方で肝臓の熱を緩和し気の流れを改善させました。

## CASE4. 痛風

<東京都 60代男性>

右足の親指の熱っぽい痛みと腫れで、病院で痛風と診断されました。治ったかと思うと繰り返し、その度に病院の薬と痛み止めで治療していました。頻繁に再発し、ひどくなるとかかとや足の甲まで痛みと腫れがあり、とても苦しかったです。こちらのサロンで推拿と食事指導をしていただき、3か月くらいですっかり良くなりました。その後も健康維持のため、定期的に推拿を受けていますが、痛風の症状はそれ以来1度も出ていません。

<先生のコメント>

痛風は肝臓と腎臓両方に強い熱邪が溜まっているために起こる症状です。特に足の親指は肝臓の経絡が流れている場所です。中医師の視点では腎臓だけではなく肝臓も深く関わっていると考えました。食習慣の改善(野菜中心と極力アルコールの量を減らす)と、推拿を行うことで、症状の改善と、再発予防を実現しました。

<千葉県 50代男性>

慢性腎不全を伴う痛風でした。主に右の足の指の痛みがあり、年に2, 3回発症していました。こちらで月に1回の推拿を受け、漢方薬も服用しました。1年後には嬉しいことに慢性腎不全が改善され、痛風の症状も全く出なくなりました。

<先生のコメント>

腎臓のエネルギー不足のため、老廃物を処理する力が弱く、熱邪が滞り、精力が落ちている状態でした。推拿で腎臓の滞りを改善し、漢方で腎臓の熱を緩和し、精力UPさせ、腎機能が改善しました。それにより痛風の症状も発症しなくなりました。